

製造業

■ 電力消費の内訳 [夏季のピーク時断面 (例)]

電力消費のうち、生産設備が占める割合が高いため、生産工程の節電対策は特に効果的です。

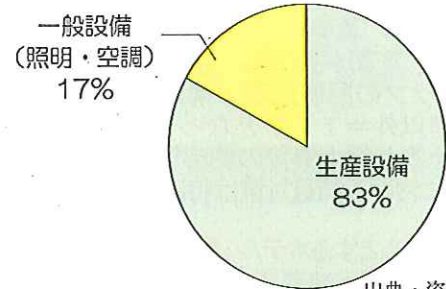
業種 (生産品目) や必要な生産環境 (空調) に応じて電力消費形態が異なります。

■ 節電メニューと効果

機械・設備
毎の効果

生産設備	不要または待機状態にある電気設備の電源オフ及びモーター等の回転機の空転防止を徹底する。 電気炉、電気加熱装置の断熱を強化する。 [効果: 保温施工の実施例]	—
		7%
	使用側の圧力を見直すことによりコンプレッサの供給圧力を低減する。 [効果: 単機における0.1MPa低減時]	8%
	コンプレッサの吸気温度を低減する。 (設置場所の室温と外気温を見合いする) [効果: 単機における吸気温度10℃低減時]	2%
ユーティリティ設備	負荷に応じてコンプレッサ・ポンプ・ファンの台数制御を行う。 [効果: コンプレッサ5台システムでピーク負荷60~80%の場合]	9%
	インバータ機能を持つポンプ・ファンの運転方法を見直す。 [効果: 弁の開閉状態の確認・調整によりインバータ機能を活用し全圧が80%となった場合]	15%
	冷凍機の冷水出口温度を高めに設定し、ターボ冷凍機・ヒートポンプ等の動力を削減する。 [効果: 利用側の状況を確認しながら7℃→9℃へ変更した場合]	8%

製造業の用途別電力消費比率の事例



出典: 資源エネルギー庁推計

照明	使用していないエリアは消灯を徹底する。 白熱灯を電球形蛍光灯やLED照明に交換する。 [効果: 白熱灯60W→①電球形蛍光灯、②LED照明に交換した場合]	①76% ②85%
空調	工場内の温度を28℃とする。 または、風通しなど室内環境に配慮しつつ、28℃より若干引き上げる。 [効果: 室内温度設定を2℃上げた場合] 外気取入量を調整することで換気用動力や熱負荷を低減する。 [効果: 換気ファンの間欠運転または停止により30%導入量を低減した場合] 室外機周辺の障害物を取り除くとともに、直射日光を避ける。 [効果: 日射の影響を受ける室外機によらずをかけた場合]	6% 8% 10%

※製造業は種別ごとに電力使用の形態が大きく異なるため、各設備ごとの節電率を記載しています。

・記載している節電効果は、機械・設備毎の消費電力に対する節電効果の想定割合の目安です。そのため、設備内容や利用状況等によって効果は異なる場合があります。

・空調については電気式空調を想定しています。

- !! 節電を意識するあまり、保健衛生面、安全面及び管理面で不適切なものとならないようご注意ください。
- !! 屋内でも熱中症にかかる場合があります。適切な室温管理や水分補給に留意いただく等、十分にご注意ください。特に、ご高齢の方や体調に不安のある方は、お気をつけください。

九州電力からのお知らせ

■ 「でんき予報」(当社における電力のご使用状況) の掲載

- 「本日のでんき予報」(日々の需給状況) および「週間でんき予報」(週間の需給見通し) を当社ホームページにてお知らせします。

■ 「緊急時の節電ご協力お願いメール」ご登録のお願い

- 節電にご協力いただける方に予め登録いただき、電力需給状況が大変厳しい場合、携帯電話に「緊急時の節電ご協力お願いメール」を配信します。是非ご登録いただき、今夏の節電に、より一層のご協力をお願いします。メール配信内容やご登録方法については、当社チラシまたはホームページをご覧ください。

■ 夏季のピーク需要抑制として非常用発電機のご活用が可能です

- 非常用発電機について、必要な要件を満たした場合は、ピークカット用電源としてのご活用が可能です。ご活用にあたっては、九州産業保安監督部への事前届出にあわせて、九州電力からの運転依頼文書が必要となりますので、最寄の当社営業所へお問合せください。
- なお、九州産業保安監督部への届出様式や要件など詳細については、九州産業保安監督部ホームページ (<http://www.nisa.meti.go.jp/safety-kyusyu/>) をご覧ください。

節電の方法を、当社ホームページでもご紹介しています。ご不明な点は最寄りの営業所へお問い合わせ下さい。

経済産業省からのお知らせ

■ 節電アクションプランをご覧ください

<http://seikatsu.setsuden.go.jp/>

- 九州内における需給ひっ迫時には、緊急避難的な措置として、政府より「緊急速報メール」が、携帯電話ユーザーに一斉配信され、「周辺の電気機器の使用を至急停止」いただくよう要請されます。

業種別の夏季節電メニューと効果

今夏においては、電力需給がきわめて厳しい状況となることが予想されるため、一層の節電をお願いすることとなりました。

つきましては、業種別の節電メニューとその効果についてご案内しますので、ご参考いただき、具体的な取り組み内容をご検討のうえ、節電にご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

九州電力株式会社

次のような節電の取り組みがおすすめです

【 節電メニューと効果は、経済産業省作成の「夏季の節電メニュー (事業者の皆様)」から抜粋 】

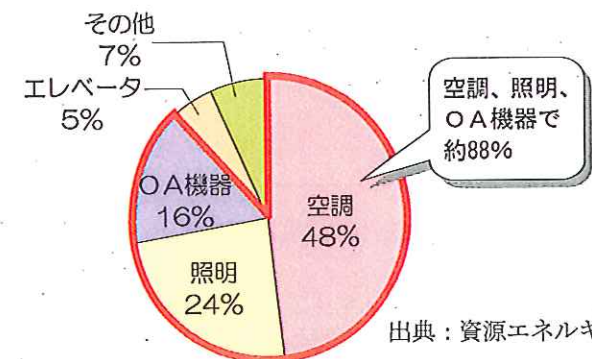
オフィスビル

■ 電力消費の内訳 [夏季のピーク時断面 (例)]

電力消費のうち、空調用電力が約48%、照明及びOA機器 (パソコン、コピー機等) が約40%を占めます。

これらを合わせると電力消費の約88%を占めるため、これらの分野における節電対策は特に効果的です。

一般的なオフィスビルにおける用途別電力消費比率



出典: 資源エネルギー庁推計

■ 節電メニューと効果

建物全体に対する効果

照明	執務エリアの照明を半分程度間引きする。 使用していないエリア (会議室、廊下等) は消灯を徹底する。	13% 3%
空調	執務室の室内温度を28℃とする。 または、風通しなど室内環境に配慮しつつ、28℃より若干引き上げる。 使用していないエリアは空調を停止する。	4% (+2℃の場合) 2%
OA機器	長時間席を離れるときは、OA機器の電源を切るか、スタンバイモードにする。	3%

- ・記載している節電効果は、建物全体の消費電力に対する節電効果の想定割合の目安です。
- ・空調については電気式空調を想定しています。
- ・一定の条件の元での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。
- ・方策により効果が重複するものがあるため、単純に合計はできません。

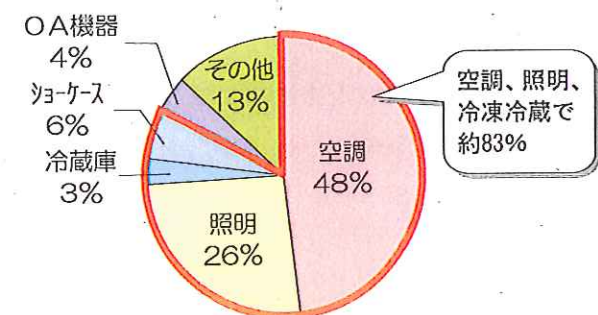
卸・小売店 (百貨店、ドラッグストア など)

■ 電力消費の内訳 [夏季のピーク時断面 (例)]

電力消費のうち、空調が約48%、照明が約26%、冷凍冷蔵 (冷蔵庫、ショーケース等) が約9%を占めます。

これらを合わせると電力消費の約83%を占めるため、これらの分野における節電対策は特に効果的です。

一般的な卸・小売店における用途別電力消費比率



出典: 資源エネルギー庁推計

■ 節電メニューと効果

建物全体に対する効果

照明	店舗の照明を半分程度間引きする。 使用していないエリア (事務室、休憩室等) や不要な場所 (看板、外部照明、駐車場) の消灯を徹底する。	13% 2%
空調	店舗の室内温度を28℃とする。 または、風通しなど室内環境に配慮しつつ、28℃より若干引き上げる。	4% (+2℃の場合)
冷凍冷蔵	業務用冷蔵庫の台数を限定、冷凍・冷蔵ショーケースの消灯、凝縮器の洗浄を行う。	1%

- ・記載している節電効果は、建物全体の消費電力に対する節電効果の想定割合の目安です。
- ・空調については電気式空調を想定しています。
- ・一定の条件の元での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。
- ・方策により効果が重複するものがあるため、単純に合計はできません。

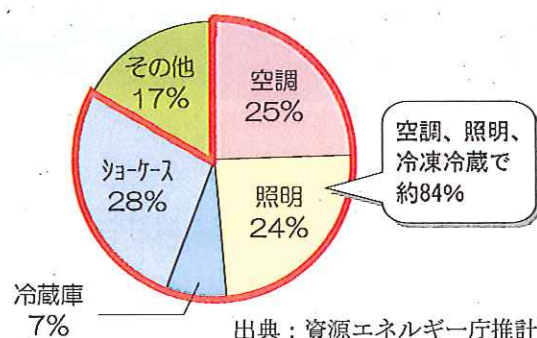
食品スーパー

■ 電力消費の内訳〔夏季のピーク時断面（例）〕

電力消費のうち、冷凍冷蔵（冷蔵庫、ショーケース等）が約35%、空調および照明（一般照明、ショーケース用照明）が約49%を占めます。

これらを合わせると電力消費の約84%を占めるため、これらの分野における節電対策は特に効果的です。

一般的な食品スーパーにおける用途別電力消費比率



出典：資源エネルギー庁推計

■ 節電メニューと効果

建物全体に対する効果

照明	店舗の照明を半分程度間引きする。	11%
	使用していないエリア（事務室、休憩室等）や不要な場所（看板、外部照明、駐車場）の消灯を徹底する。	2%
空調	店舗の室内温度を28℃とする。または、風通しなど室内環境に配慮しつつ、28℃より若干引き上げる。	1% (+2℃の場合)
	使用していないエリア（事務室、休憩室等）は空調を停止する。	1%
冷凍冷蔵	業務用冷凍・冷蔵庫の台数を限定、冷凍・冷蔵ショーケースの消灯、凝縮器の洗浄を行う。	5%

- ・記載している節電効果は、建物全体の消費電力に対する節電効果の想定割合の目安です。
- ・空調については電気式空調を想定しています。
- ・一定の条件の元での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。
- ・方策により効果が重複するものがあるため、単純に合計はできません。

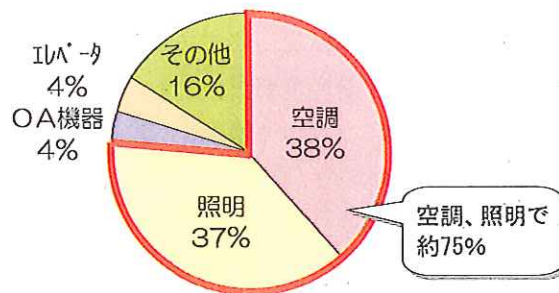
医療機関（病院、診療所 など）

■ 電力消費の内訳〔夏季のピーク時断面（例）〕

電力消費のうち、空調が約38%、照明が約37%を占めます。

これらを合わせると電力消費の約75%を占めるため、これらの分野における節電対策は特に効果的です。

一般的な医療機関における用途別電力消費比率



出典：資源エネルギー庁推計

■ 節電メニューと効果

建物全体に対する効果

照明	事務室の照明を半分程度間引きする。	4%
	使用していないエリア（外来部門、診療部門の診療時間外）は消灯を徹底する。	4%
空調	病棟、外来、診療部門（検査、手術室等）、厨房、管理部門毎に適切な温度設定を行う。	1%
	使用していないエリア（外来、診療部門等の診療時間外）は空調を停止する。	1%
	日射を遮るために、ブラインド、遮熱フィルム、ひさし、すだれを活用する。	1%

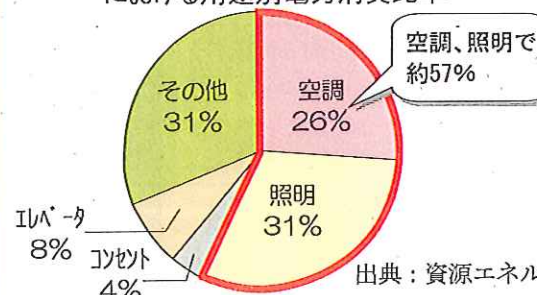
- ・記載している節電効果は、建物全体の消費電力に対する節電効果の想定割合の目安です。
- ・空調については電気式空調を想定しています。
- ・一定の条件の元での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。
- ・方策により効果が重複するものがあるため、単純に合計はできません。

ホテル・旅館

■ 電力消費の内訳〔夏季のピーク時断面（例）〕

電力消費のうち、空調が約26%、照明が約31%を占めます。（下グラフの照明比率の構成としては、概ね、客室：客室以外＝1：7となっています。）これらを合わせると電力消費の約57%を占めるため、これらの分野における節電対策は特に効果的です。

電気式空調を中心とするホテル・旅館における用途別電力消費比率



出典：資源エネルギー庁推計

■ 節電メニューと効果

建物全体に対する効果

照明	客室以外のエリアの照明を半分程度間引きする。	13%
空調	使用していないエリア（会議室、宴会場等）は空調を停止する。	1%
	ロビー、廊下、事務室等の室内温度を28℃とする。または、風通しなど室内環境に配慮しつつ、28℃より若干引き上げる。	1% (+2℃の場合)

- ・記載している節電効果は、建物全体の消費電力に対する節電効果の想定割合の目安です。
- ・空調については電気式空調を想定しています。
- ・一定の条件の元での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。
- ・方策により効果が重複するものがあるため、単純に合計はできません。

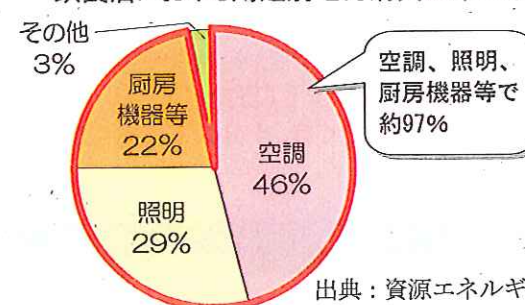
飲食店（ファミリーレストラン、居酒屋、ファーストフード店 など）

■ 電力消費の内訳〔夏季のピーク時断面（例）〕

電力消費のうち、空調が約46%、照明が約29%、厨房機器等（給湯・冷蔵庫・ショーケース等）が約22%を占めます。

これらを合わせると電力消費の約97%を占めるため、これらの分野における節電対策は特に効果的です。

飲食店における用途別電力消費比率の事例



出典：資源エネルギー庁推計

■ 節電メニューと効果

設備毎の効果

照明	使用していないエリア（事務室等）や不要な場所（看板、外部照明等）の消灯を徹底し、客席の照明を半分程度間引きする。	40%
空調	店舗の室内温度を28℃とする。または、風通しなど室内環境に配慮しつつ、28℃より若干引き上げる。	8% (+2℃の場合)
厨房	冷凍冷蔵庫の庫内は詰め込みすぎず、庫内の整理を行うとともに、温度調節等を実施する。	3%

- ※飲食店は営業形態ごとに電力使用の形態が大きく異なるため、各設備ごとの節電率を記載しています。
- ・空調については電気式空調を想定しています。

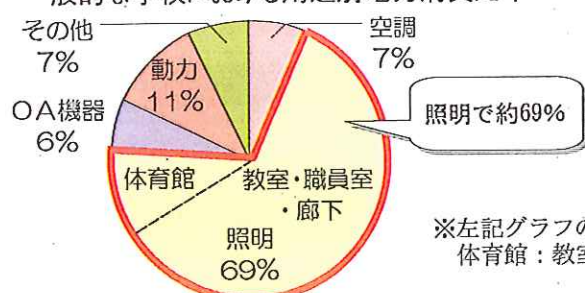
学校（小・中・高校）

■ 電力消費の内訳〔夏季のピーク時断面（例）〕

夏季の就学日におけるピーク時は、照明が約69%を占めています。

教室部分に空調を設置していない場合が多いため、照明の比率が高くなっています。ただし、空調を設置している学校については空調の比率が高くなることに留意が必要です。

一般的な学校における用途別電力消費比率



※左記グラフの照明比率の構成としては、概ね、体育館：教室・職員室・廊下＝1：6となっています。

出典：資源エネルギー庁推計

■ 節電メニューと効果

建物全体に対する効果

照明	教室、職員室、廊下の照明を間引きする。	16% (約4割減の場合)
	点灯方法や使用場所を工夫しながら体育館の照明を1/4程度間引きする。	2%

- ・記載している節電効果は、建物全体の消費電力に対する節電効果の想定割合の目安です。
- ・空調については電気式空調を想定しています。
- ・一定の条件の元での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。
- ・方策により効果が重複するものがあるため、単純に合計はできません。